

海・船の視点を考慮した港湾BCPの充実化

海・船の視点を考慮した港湾BCPの充実化の方向性

- 現行の港湾BCPにおいて、津波来襲時の船舶の沖合退避、係留強化、船舶の衝突・乗揚げに関する記載がないことを踏まえ、これらの視点を港湾の事業継続計画策定ガイドライン（以下、港湾BCPガイドライン）に反映させた上で、各港における港湾BCPの改訂を順次行う。

港湾BCPの充実化の方向性

「沖合退避」に係る港湾BCPの充実

- 数値シミュレーション等を通じ、ふ頭ごとの津波リスク評価を実施した上で、当該ふ頭で想定される津波リスクに関する参考情報（津波流速等）を事前共有するとともに、緊急時の対応（係留索の切り離し、荷役停止等）を明確化し、津波来襲リスクに応じた着岸方式の変更、関係者間の連携体制を構築し、教育・訓練を実施する必要がある旨を反映する。

「係留強化」に係る港湾BCPの充実

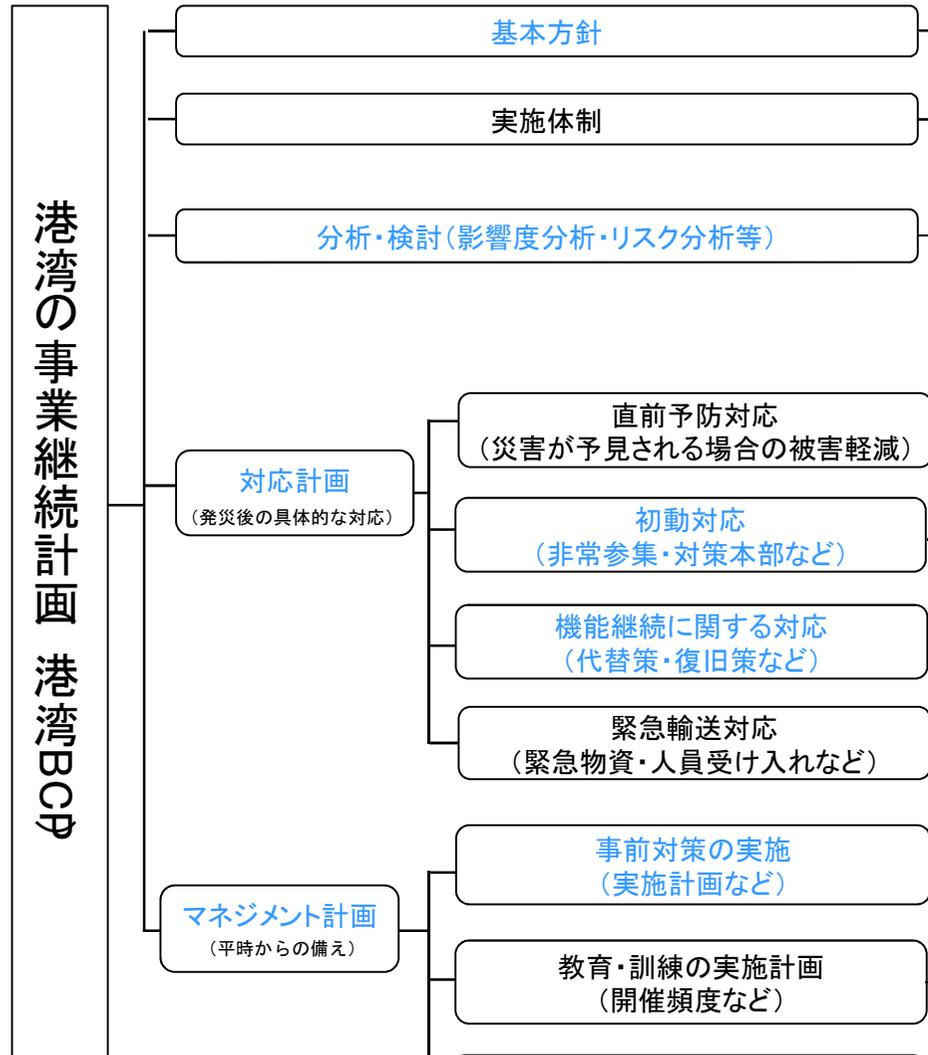
- 数値シミュレーション等を通じ、ふ頭ごとの津波リスク評価を実施した上で、当該ふ頭で想定される津波リスクに関する参考情報（津波流速等）を事前共有するとともに、緊急時の対応（係留強化時の増し舳い手法、荷役停止等）を明確化し、関係者間の連携体制を構築し、教育・訓練を実施する必要がある旨を反映する。

「衝突・乗揚げ被害軽減」に係る港湾BCPの充実

- 数値シミュレーション等を通じ、ふ頭ごとの津波リスク評価を実施した上で、当該ふ頭で想定される津波リスクに関する参考情報（津波流速等）を事前共有するとともに、漂流船舶の背後地への衝突・乗揚げによる施設被害、漂流船舶の撤去等に関する対策や、教育・訓練を実施する必要がある旨を反映する。

各港の港湾BCPへの反映イメージ

各港の港湾BCPの構成イメージ



今回改訂で各港の港湾BCPに追加することを想定している事項

- 地震発生に伴う津波来襲時に想定される船舶事故に関するリスク軽減への言及
 - 船舶関係者や、タグ・パイロット・綱取り等の離岸作業関係者も含めた実施体制の構築
 - 津波来襲時の船舶事故に係るリスクの把握
 - 数値シミュレーションや文献等※を活用した津波リスク評価の実施
- ※海上保安庁海洋情報部が公表している「津波防災情報図」なども参考としつつ、当該港湾における複数の想定津波（引き波含む）を設定することが望ましい
- 巨大地震発生危険性が高まった際に発令される臨時情報発令時、着岸方式の変更（入船係留から出船係留への転換）や実施体制の再確認等の対策の実施
 - 津波リスクに関する参考情報（津波流速等）の関係者間での共有
 - 係留船舶の沖合退避判断・係留強化判断の参考となる情報を関係者間で共有できる連携体制の構築
 - ふ頭毎の津波リスク評価に基づく沖合退避判断・係留強化判断の考え方の整理
 - 津波来襲時の船舶の沖合退避や係留強化を念頭においた「発災直後に実施すべき対応」のタイムライン作成
 - 緊急時の対応（係留強化時の増し舳り手法や係留索の切り離し、荷役停止等）の明確化
 - 津波来襲リスクに応じた着岸方式の変更（入船係留から出船係留への転換）の検討
 - 漂流船舶の背後地への衝突・乗揚げによる施設被害、漂流船舶の撤去等に関する対策の実施
 - 津波来襲時の船舶の迅速な沖合退避、係留強化の関係者も含めた教育・訓練の実施